

平成29年度予算見積調書

課室名：みどり自然課

担当名：野生生物担当

内線：3154

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B64	野生生物保護事業費		一般会計	総務費	環境費	自然保護対策費	生物多様性保全推進事業費	
事業期間	昭和38年度～	根拠法令	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律		挑戦項目			
					分野施策	051248 生物多様性の保全		
1 事業概要			5 事業説明					
<p>野生生物の生息数や生息地を適正なものとするため、生息状況等を調査するとともに、鳥獣保護管理事業計画や第二種特定鳥獣管理計画に基づき、野生生物の適切な保護管理を図る。</p> <p>(1)ガンカモ類の生息調査 515千円 (2)特定鳥獣保護管理事業 26,617千円 (3)カワウ広域保護管理事業 2,865千円 (4)狩猟及び鳥獣出没情報の多層化事業 4,679千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア ガンカモ類の生息調査 生息状況調査（県内160か所） 515千円 イ 特定鳥獣保護管理事業 県保護管理検討委員会開催、生息状況調査、放射性物質調査 26,617千円 ウ カワウ広域保護管理事業 関東カワウ広域協議会参加、県協議会開催、生息状況調査 2,865千円 エ 狩猟及び鳥獣出没情報の多層化事業 鳥獣保護区等位置図電子化業務委託 4,679千円</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア ガンカモ類の生息調査 環境省の方針に基づき毎年度1回実施 イ 特定鳥獣保護管理事業 鳥獣保護管理事業計画、第二種特定鳥獣管理計画の実施等 ウ カワウ広域保護管理事業 関東カワウ広域保護管理指針に基づき、毎年度調査及び協議会を実施 エ 狩猟及び鳥獣出没情報の多層化事業 狩猟制限区域等の情報を電子化</p> <p>(3) 事業効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガン・カモ・ハクチョウ類の冬季の生息状況及び渡来傾向、生息地等の基礎資料を得られる。 ・イノシシ・ニホンジカ等の個体群の安定維持、人と野生鳥獣との共生と被害防止対策の計画的な推進が図られる。 ・カワウを絶滅させることなく、被害を減少させるために、隣接都県と連携した広域的な調査や対策を実施できる。 ・電子地図は拡大縮小が可能のため、狩猟制限区域の正確な境界や様々な情報の確認ができる。 					
2 事業主体及び負担区分 (県 10 / 10)								
3 地方財政措置の状況 普通交付税（単位費用） (区分) 林野行政費（細目）鳥獣行政費 (細節) 鳥獣行政費 (積算内容) 鳥獣保護事業の実施等に関する事務								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.2人=11,400千円								
予算額			財 源 内 訳				一般財源	前年との対比
決定額	34,676						34,676	△10,907
前年額	45,583						45,583	